

京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～

2050年の京都における脱炭素社会と 将来世代が夢を描ける豊かな社会を同時に実現する

令和3年9月に「京創ミーティング」を発足。

幅広い分野で活躍しておられる方々とともに、脱炭素ライフスタイルの転換に向け、2050年のビジョン、2030年の目標やアクション等を議論。



↑第1回会議の様子



↑会議での様子



↑プロジェクト視察の様子

使用済衣服の回収&循環プロジェクト「RELEASE⇔CATCH」

RELEASE ⇔ CATCH

プロジェクト概要

リデュース・リユース・リサイクルが若者カルチャーとして醸成することを目指す

京都市の関わり

- ・プロジェクトの実現に向けた事業者のマッチングや、ビジネスモデルの構築を支援
- ・環境省「令和4年度 使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」に申請し、採択を受ける



ジャパン・サステナブル・ファッション・アライアンス(JSFA)への加盟について

京都市は、J S F Aが目指すサステナブルなファッション産業への移行を推進する取組に賛同し、自治体として初めてパブリックパートナーとして加盟。

ファッション産業が自然環境及び社会に与える影響を把握し、ファッション及び繊維業界の共通課題について共同で解決策を導き出す企業連携プラットフォーム。「ファッションロスゼロ」と「2050年カーボンニュートラル」を目標に、サステナブルなファッション産業への移行を推進することを目的とする。令和3年8月3日設立。

正会員企業：21社

賛助会員企業：29社

パブリックパートナー：消費者庁、経済産業省、環境省

(令和4年8月時点)